

令和4年度第5回「しがwebアンケートプラス調査」

(県内向け調査)の結果について

1 調査の目的

県政における喫緊の課題や重要事項について、インターネットを活用し適時迅速に県民の意識や意向を調査し、速やかに県の方針や県政運営に反映させるための基礎資料とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の個人
- (2) 標本数 500 人
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するWEB調査
- (4) 調査期間 令和5年1月12日(木)～ 1月16日(月)
- (5) 調査会社 株式会社クロス・マーケティング

3 調査項目

サイクリングに関する意識調査

4 主な調査結果

Q1 サイクリング(自転車を使用したレクリエーション活動。ただし、スポーツ、通勤、買物等の目的は除く)は三密を避けて実施できることから、コロナ禍でも比較的安心して楽しめるレジャーとして注目されており、滋賀県でもサイクリングの振興を行っています。あなたは滋賀県内でサイクリングをしたいと思いますか。(答えは1つ)

- | | |
|------------------|-------|
| 1 位:サイクリングをしたくない | 44.8% |
| 2 位:サイクリングをしたい | 33.4% |
| 3 位:わからない | 21.8% |

・「サイクリングをしたくない」と回答した人は44.8%と最も多く、次いで「サイクリングをしたい」の33.4%となっており、「わからない」も21.8%となっており、サイクリングに消極的な人が多い。

・「サイクリングをしたくない」と回答した人のうち、男性は40.0%なのに対し、女性では半数近くの49.6%を占め、サイクリングに二の足を踏む女性の多いことがうかがえる。

Q2 Q1で「サイクリングをしたい」と回答された方におたずねします。滋賀県内でサイクリングを行う際に期待する点について教えてください。(答えはいくつでも)

- | | |
|----------------|-------|
| 1 位:自然、風景、景観 | 81.4% |
| 2 位:休憩施設 | 50.9% |
| 3 位:観光地 | 48.5% |
| 4 位:食べ物
コース | 43.7% |
| 6 位:交通マナー | 34.7% |

7 位:歴史、文化	31.1%
8 位:土産物	15.0%
9 位:県民のおもてなし	4.8%
10 位:特になし	2.4%
11 位:その他	0.6%

・「自然、風景、景観」と回答した人は 81.4%となっており、次いで「休憩施設」の 50.9%、「観光地」の 48.5%、「食べ物」、「コース」の 43.7%などとなっており、自然を満喫し、観光地も巡りながら、飲食を楽しめることなど、様々な期待があるものと考えられる。

Q3 Q1で「サイクリングをしたくない」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。

(答えはいくつでも)

1 位:元々サイクリングに興味がない、楽しいと思わない	56.7%
2 位:使用できる自転車がない	28.6%
3 位:交通事故が心配	20.5%
4 位:車道の左側を走るのが怖い	18.3%
5 位:特になし	14.7%
6 位:自転車に乗れない、体力や技量がない	9.4%
7 位:道に迷いそう	5.8%
8 位:休憩ができるか不安	5.4%
9 位:交通ルールや走行マナーがわからない	4.0%
10 位:自転車の故障が心配	3.6%
11 位:魅力的なスポット等が少ない	3.1%
12位:その他	2.7%
13位:別のリクレーション活動等をしている	1.3%

・「元々サイクリングに興味がない、楽しいと思わない」と回答した人が 56.7%と過半数を占め、サイクリングの人気の今一つであることがうかがえる。

・「交通事故が心配」や「車道の左側を走るのが怖い」がともに 20 パーセント前後となっており、安全・安心の点で不安を持つ人が一定存在することがうかがえる。また、男性では、ともに10 数%なのに対し、女性では25%前後と倍近くとなっている。

・なお、「使用できる自転車がない」の 28.6%については、通常の自転車ではなく、サイクリング用の本格的な自転車を所有していない人が回答したのではないかと推測される。

Q4 滋賀県では、自転車で琵琶湖を一周することまたは琵琶湖その他県内の観光地等を周遊することをビワイチとしています。そのうちの琵琶湖を一周する「ビワイチ」ルートをあなたはサイクリングしたことがありますか(答えは 1 つ)

1 位:「ビワイチ」ルートを知ってはいるが、 サイクリングをしたことはない	59.8%
2 位:「ビワイチ」ルートを知らないし、 サイクリングをしたこともない	32.2%
3 位:「ビワイチ」ルートをサイクリングしたことがある	8.0%

・「「ビワイチ」ルートを知ってはいるが、サイクリングをしたことはない」と回答した人が最も多く、

59.8%となっており、次いで「ビワイチ」ルートを知らないし、サイクリングをしたこともない」の 32.2%となっており、「ビワイチ」ルートをサイクリングしたことがある」は 8.0%にとどまっており、「ビワイチ」ルートの知名度と比較して、現実に「ビワイチ」を体験する人の少なさが目立っている。

・特に、「ビワイチ」を経験したことのある人は、男性の 12.4%と比較し、女性はわずか 3.6%と際立って低い。

Q5 Q4で「ビワイチ」ルートをサイクリングしたことがある」と回答された方におたずねします。良かった点はどのようなことですか？(答えはいくつでも)

1 位:琵琶湖一周の達成感 自然、風景、景観	60.0%
3 位:コース	25.0%
4 位:観光地 歴史、文化	17.5%
6 位:食べ物 休憩施設	10.0%
8 位:交通マナー 特になし	5.0%
10 位:県民のおもてなし その他	2.5%

・「琵琶湖一周の達成感」、「自然、風景、景観」と回答した人が 60.0%と最も多く、次いで「コース」の 25.0%、「観光地」、「歴史、文化」の 17.5%などと続き、琵琶湖をはじめとする自然などを堪能できたとの印象を持つ人の多いことがうかがえる。

・Q2 にて、サイクリングをする上で休憩施設に期待する人が多かった点と比較し、「ビワイチ」で良かった点として挙げた人が少なかったのが対照的である。

Q6 滋賀県は琵琶湖岸のみならず県内全域へのサイクリングを進めるため、県内各地の観光地等を周遊する「ビワイチ・プラス」ルートを令和元年12月に設定し、各地域の特色ある魅力を発見するサイクリングの新たな楽しみを提供しています。あなたは、「ビワイチ・プラス」を知っていますか。また、「ビワイチ・プラス」ルートやその一部を走るサイクリングをしたことがありますか？(答えは1つ)

1 位:知らないし、ビワイチ・プラスも経験したことがない	69.0%
2 位:知っているが、ビワイチ・プラスは経験したことがない	27.8%
3 位:知っており、ビワイチ・プラスも経験した	2.4%
4 位:知らないが、ビワイチ・プラスは経験した	0.8%

・「知らないし、ビワイチ・プラスも経験したことがない」と回答した人が 69.0%、次いで「知っているが、ビワイチ・プラスは経験したことがない」の 27.8%などとなっている。

・「ビワイチ・プラス」を知っている人が 30.2%となっているのに対し、「ビワイチ・プラス」を経験したことのない人は 96.8%と、殆どの人が経験していない。

Q7 サイクリングをしている人のマナーは、サイクリングルートとなっている地元と良い関係をつ

くる上で大変重要ですが、依然としてサイクリングをする各個人のモラルによるところが大きいと考えられます。滋賀県内でサイクリングをしている人の交通ルール遵守や走行マナーについて、あなたが見て感じる印象についておたずねします。(答えは1つ)

- | | |
|-------------------------------------------|-------|
| 1 位:わからない | 42.2% |
| 2 位:交通ルールや走行マナーの遵守はできていない
(できていない人が多い) | 29.0% |
| 3 位:交通ルールや走行マナーの遵守はできている
(できている人が多い) | 28.8% |

・「わからない」と回答した人は42.2%と半数近くを占め、Q1で「サイクリングをしたくない」と回答した人の割合に近い。

・「交通ルールや走行マナーの遵守」については、できていると考える人と、できていないと考える人とがほぼ同数となっている。

Q8 滋賀県内において、地元住民や自動車ドライバーと、サイクリングをしている人が互いに良い関係を築くために、あなたが必要だと思うことについて教えてください。(答えはいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------------------|-------|
| 1 位:自転車安全・安心に走れる道路環境を整備すること | 63.8% |
| 2 位:自転車の交通ルールや走行マナーを周知すること | 54.0% |
| 3 位:地元住民や自動車ドライバーとサイクリングを
している人との相互交流と相互理解 | 22.0% |
| 4 位:特になし | 21.2% |
| 5 位:サイクリングの魅力や意義を啓発すること | 17.4% |
| 6 位:滋賀県民自身がサイクリングを楽しむこと | 16.0% |
| 7 位:サイクリングの盛り上がりによる経済効果が見える化すること | 14.4% |
| 8 位:その他 | 1.4% |

・「自転車安全・安心に走れる道路環境を整備すること」と回答した人は63.8%と最も多く、次いで「自転車の交通ルールや走行マナーを周知すること」の54.0%などとなっており、ハード面の整備に加え、交通ルールの遵守やマナーの周知など、モラル向上が基本ととらえる人の多いことがうかがえる。

Q9 滋賀県では、誰もが楽しめるサイクリングを進めるため、目的地へのナビゲーション機能や観光情報等が無料で利用できる「ビワイチサイクリングナビアプリ-shiga trip-」を平成30年4月から提供しています。あなたは、このアプリを知っていますか。また、このアプリを使ってサイクリングをしたことがありますか。(答えは1つ)

- | | |
|------------------------------------------|-------|
| 1 位:知らないし、ビワイチアプリを使ってビワイチも経験
したことがない | 81.8% |
| 2 位:知っているが、ビワイチアプリを使ってビワイチを経
験したことがない | 15.0% |
| 3 位:知っており、ビワイチアプリを使ってビワイチを経験した | 2.2% |
| 4 位:知らないが、ビワイチアプリを使ってビワイチを経験した | 1.0% |

・「知らないし、ビワイチアプリを使ってビワイチも経験したことがない」と回答した人は 81.8%と圧倒的多数であり、次いで「知っているが、ビワイチアプリを使ってビワイチを経験したことがない」の 15.0%などとなっており、ビワイチアプリの知名度の低さが際立つ。

Q10 滋賀県では令和4年4月1日にビワイチ推進条例を施行し、11月3日(いいサイクリング)を「ビワイチの日」、同日から9日を「ビワイチ週間」とし、滋賀ふるさと観光大使によるPRなど様々な イベント等を実施しました。あなたは「ビワイチの日」、「ビワイチ週間」を知っていますか。(答えは1つ)

- | | |
|----------------------------|-------|
| 1 位:知らないし、イベントなどにも参加していない | 79.0% |
| 2 位:知っているが、イベントなどには参加していない | 18.8% |
| 3 位:知っており、イベントなどに参加した | 1.2% |
| 4 位:知らないが、イベントなどに参加した | 1.0% |

・「知らないし、イベントなどにも参加してない」と回答した人は 79.0%と最も多く、次いで「知っているが、イベントなどには参加していない」の 18.8%となっており、イベントなどに参加しなかった人は、合わせて 97.8%と、殆ど人が参加しなかった。

・イベント等を知っていた人は、20.0%にすぎず、イベント等に参加した人はさらに少なく、2.2%と殆どいなかった。

Q11 「ビワイチ」、「ビワイチ・プラス」や滋賀県内でのサイクリングを、もっと盛り上げるために必要だと思うことを、ご自由にご記入ください。(自由記述)

・500人のうち300人の方(60.0%)からご意見をいただき、その主なものは次のとおりである。

- | | |
|---------------------|------|
| ・PR、イベント | 125人 |
| ・道路の整備、安全の確保 | 85人 |
| ・休憩施設などの整備 | 20人 |
| ・マナー・モラル向上、交通ルールの遵守 | 19人 |

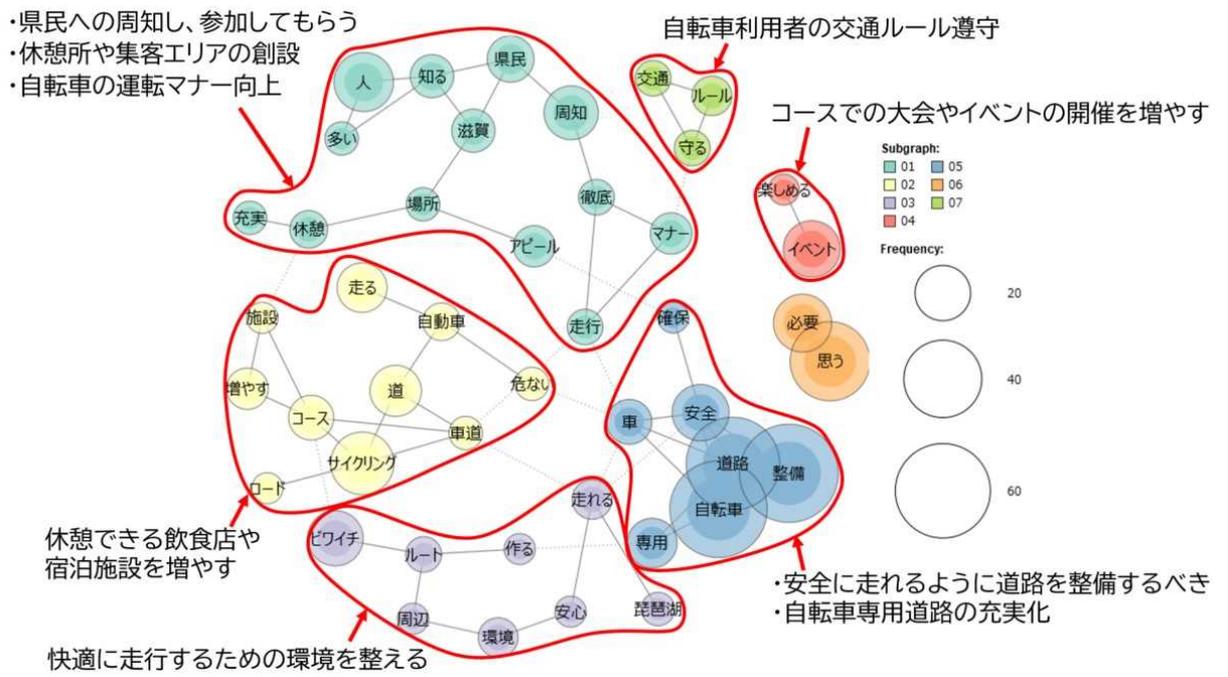
・他に、「ママチャリでも楽しめるように」、「女性や年配者も参加できるように」といったご意見が3人の方から寄せられた。

・「アプリでスタンプラリーをしては」、「婚活イベントとかは」、といったご意見も頂戴した。

・なお、「特にない」や、「わからない」、「興味がない」と記述された方も多く、40.0%を占めた。

・自由記述でいただいたご意見の要約として共起ネットワークグラフを作成した。

共起ネットワークグラフは、一つの文章内で同時に出現(共起)するキーワード間に何らかの関連性があると仮定して集計し、出現頻度が上位のキーワード(点)と関連性(線)から成るネットワークグラフとして可視化したものである。



※語と語が結ばれている線は、共起性や関連性を表している。

※円の大きさは頻出キーワードの出現頻度を表している